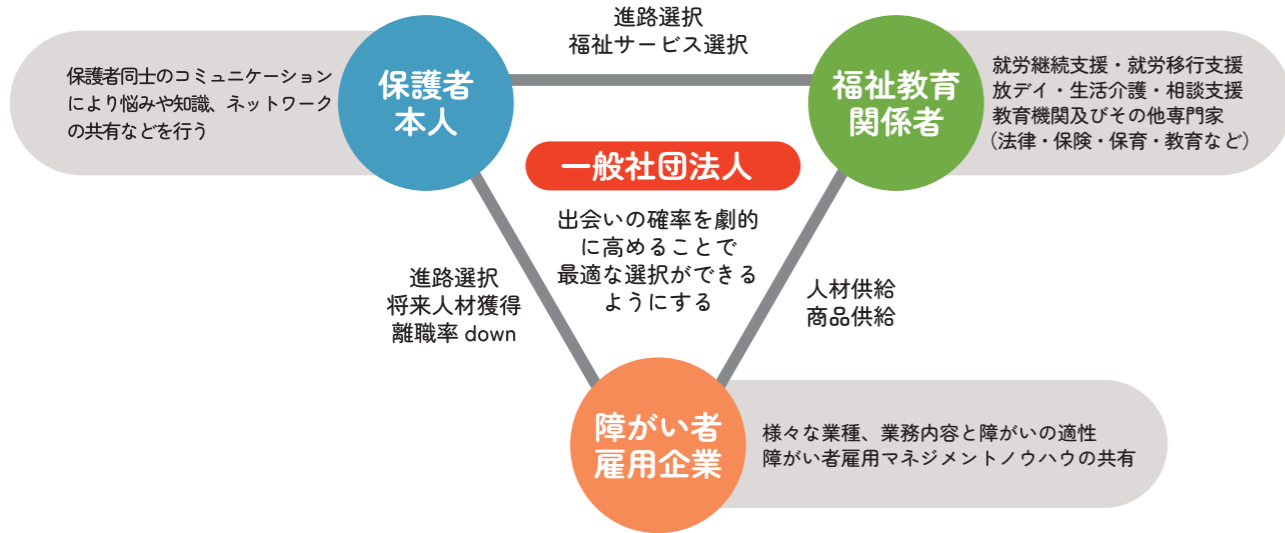


「保護者・本人」

「障がい者雇用法」の3者の課題を、情報とピンポイントの出会いで解決していく

「障がい福祉・教育」



一般社団法人 STATICE 賛助会員様ご紹介 (順不同)

- 株式会社 e パワー 様
- 株式会社堀内電気 様
- 株式会社スクーデリア・ノーベ 様
- 株式会社マイマイ HD 様
- 合同会社 kanzeon 様
- 株式会社リオス 様
- 長松山 光薫寺 様
- ジャガー福岡中央株式会社 様
- 株式会社レインボービルサービス 様
- 株式会社ふくや 様
- 有限会社福岡ダストサービス 様
- 福岡成蹊学園福岡外語専門学校 様
- 光薫福祉会光薫寺ビハラー 様
- 株式会社 QTnet 様
- 島田電気商会株式会社 様
- 高橋電業株式会社 様
- 有限会社 OK ビル管理 様
- 西鉄ウィルアクト株式会社 様
- 九州旅客鉄道株式会社 様
- 昭和電設工業株式会社 様

【モニター募集】

モニターは緩やかな構成員であり、モニターの皆さまと双方向コミュニケーションをとりながら、リアル訪問・フリーペーパー作成・コミュニティ事業を一緒に作っていきます。

- ・保護者モニター
- ・障がい福祉・教育モニター
- ・障がい者雇用法モニター

POINT
会費無料
連絡は原則グループLINEを使用します。

【お申込み】

QRコードよりお願いいたします

保護者モニター 福祉モニター 企業モニター



【福岡県障がい福祉情報誌 STATICE】

発行：一般社団法人STATICE

(代表理事：樋口 大志)

住所：〒812-0874

福岡県福岡市博多区光丘町2丁目2-11

E-mail: info.syadan.static@gmail.com

制作・デザイン：株式会社CELTIS・To.me Design



【特別インタビュー】

インクルーシブ社会の実現に向けた専門学校の今とこれから

(一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会若本仁顧問・大村陽之助会長)

【進学実例インタビュー】

五灯館大学校 基礎課程・専門課程

特集

1. 障がいのある児童・生徒の「進学」
2. 障がいのある学生の専門学校進学状況 調査結果報告
3. 資料【福岡県教育委員会集計】卒業生の進路状況
4. 第4回リアル訪問体験【立花高等学校】
5. 第5回リアル訪問体験【福岡県立特別支援学校 福岡高等学園】



目次

一般社団法人STATICE 理事ご挨拶	P2
障がいのある児童・生徒の「進学」	P3～P4
障がいのある学生の専門学校進学状況 調査結果報告	P5～P6
資料【福岡県教育委員会集計】卒業生の進路状況	P7
『SMALL STEP TV』のご紹介	P8
【特別インタビュー】インクルーシブ社会の実現に向けた専門学校の今とこれから (一般社団法人 福岡県専修学校各種学校協会岩本 仁 顧問・大村 陽之介 会長)	P9～P10
第4回リアル訪問体験【立花高等学校】	P11～P12
第5回リアル訪問体験【福岡県立特別支援学校 福岡高等学園】	P13～P14
【進学実例インタビュー】五灯館大学校	P15～P16
障がい福祉ミニ情報	P17
一般社団法人STATICE実績紹介	P18

一般社団法人 STATICE



設立理念

～障がい者の経済的自立を実現する～

Stalice(スターチス) 花言葉

「変わらぬ心」
「変わらぬ誓い」
「誠実」「成功」

保護者の皆さまのお子さまへの「変わらぬ心」、社会で共に生きる企業の「変わらぬ心」、人としての成長や生活を支える教育・福祉の「変わらぬ心」を支えていける活動にしたい。
社団の「変わらぬ誓い」を体現した花として、
そのまま社団名といたしました。

裏表紙のQRコードより、アンケートのご回答をお願いいたします。

一般社団法人 STATICE 理事 ご挨拶



「心」墨象家 小山翔風 作

合同会社kanzeon 代表
一般社団法人STATICE 代表理事
樋口 大志

<https://kanzeon-social.com/>



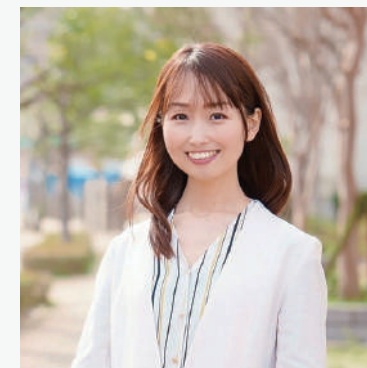
多くの方と力を合わせて具体的な活動を積み重ね、選択する「本人」も、送り出す「保護者」も、受け入れる「教育」「福祉」「企業」も、社会をより良くするための一員として、誰もが住みやすい社会につながるよう、協力できる活動にしていきます。

1978年生 福岡市早良区出身
早良高校／九州大学農学部卒・政治家秘書(代議士公設秘書)
日本初のユネスソーシャルビジネスカンパニー「刑務所出所者の社会復帰」創業参加

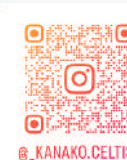
昨年11月から配布をさせていただきました「フリーペーパー STATICE 創刊号」は、多くの方にお届けすることができました。まずは、ご協力いただいた福岡県・福岡市・北九州市・太宰府市・大野城市教育委員会や学校関係の皆さま、立花高等学校や相談支援員、放課後等デイサービスなど民間の教育・福祉関係者の皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。

私は娘に「自閉スペクトラム症」「知的ボーダー」があります。私は娘に障がいを理由に何かをあきらめる人生にはしてほしくありませんでした。そこで、私にできる障がい者支援を模索し「障がい者の経済的自立を実現する」ことを目標とした事業の必要性を感じ、2021年に合同会社kanzeon(R7.4法人化)と2024年6月に一般社団法人STATICEを設立いたしました。

私たち同様に、「自分の人生を切り拓く本人」や「お子様の幸せな人生を願う保護者」の皆さまと共に、障がいの有無に関わらず、自分らしく最適な進路選択ができる社会を目指していきたいです。



株式会社CELTIS 代表取締役
一般社団法人STATICE 理事
障害福祉ジャーナリスト
古賀 佳奈子



1989年生まれ 京都府出身 筑紫女学園大学卒
大学卒業後、テレビ局報道ディレクター出身の代表が立ち上げたTV番組・動画制作会社に入社し、制作全般業務、また、レポーター・ナレーターなど演者側での仕事にも携わる。その後、2020年に株式会社CELTISを設立。障がい福祉と社会課題をテーマとした情報番組『～ともに創る 未来へ進む～ SMALL STEP TV(JCOM福岡放送/YouTube)』をスタート。

昨年11月に創刊号を発刊したフリーペーパーSTATICEでは、多くの方のご協力によって様々な情報をお届けする事ができました。まずは関わっていただいた多くの皆様に、心より御礼申し上げます。

また、私自身、不登校が長く、難病の母の看護をしていたこと、そして発達障がいをもつ子どもの育児等を通じて、まだまだ必要な情報が必要な方に届いていない現状を実感いたしました。

実際には、多くの福祉や教育関係者、企業、任意団体や個人など、さまざまな方が支援の手を広げてくださっています。それらの活動が、より多くの支援が必要な方に届くように、そして、より多くの方が今よりさらに充実した生活ができるように、私共の活動を進めてまいります。

フリーペーパーSTATICE 第二号では、主に「学び」をテーマに情報をお届けしてまいります。皆様のご意見やご感想等もお待ちしておりますので、お気軽にお寄せ下さいませ。

— 障がいのある児童・生徒の「進学」 —

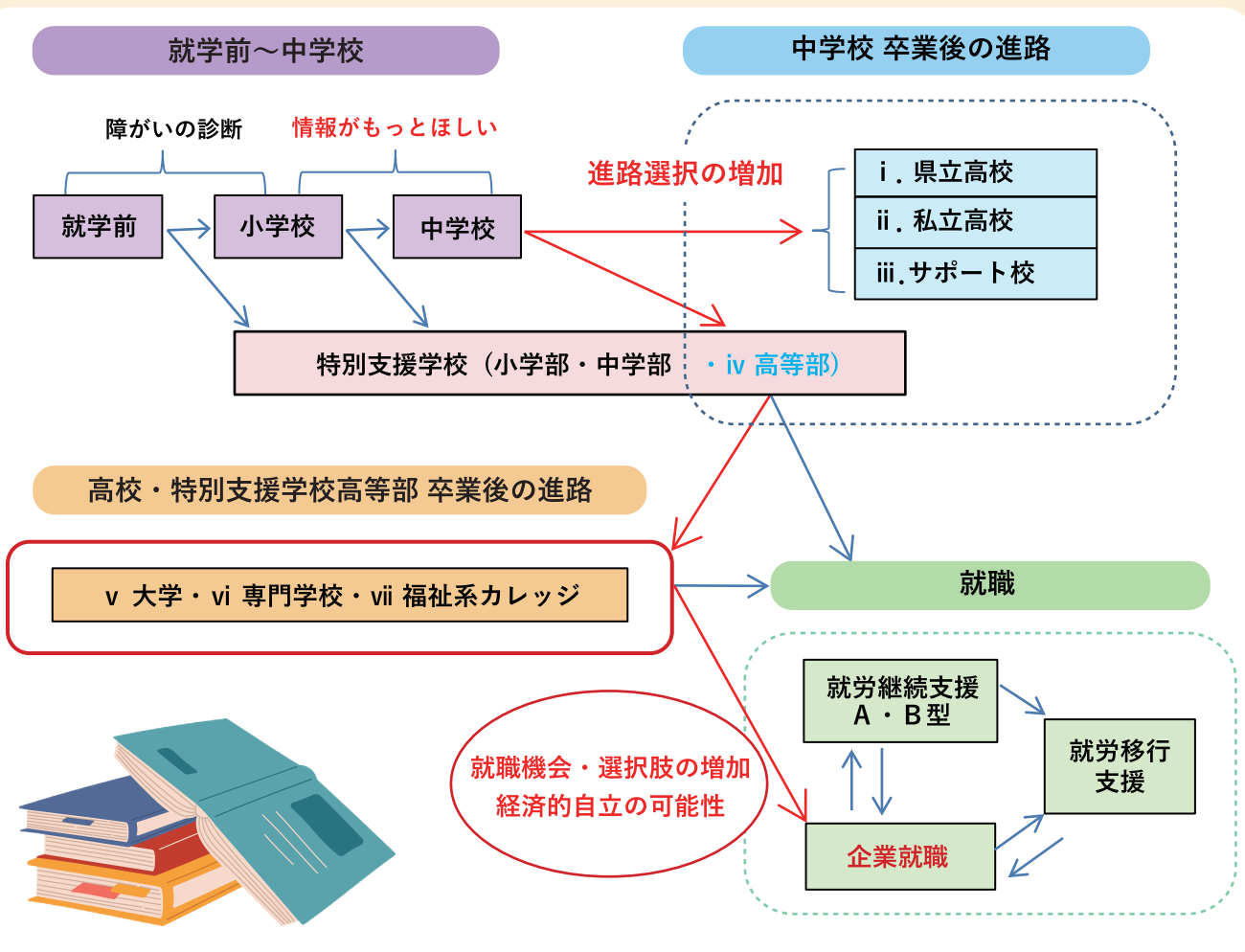


フリーペーパーSTATICE第二号のテーマは「進学」です

- ① 私共は多くの関係者とお話をする中で、保護者には「特別支援学校に行くとは進学ができない」と誤解をされている方が多いことに気がきました。実際は、障がい特性があろうとも、毎年、大学や専門学校へ進学する学生はいます。本人・保護者には、そのことを知っていただきたいと思いました。
- ② また、日本では少子化にもかかわらず特別支援学校は増設・新設されており、社会の中でその役割が拡大しています。その一方で、企業は労働人口が減少する中で障がい者雇用率アップを迫られており、これまでの「軽作業」中心でなく、業務の多様化・高度化を目指しています。

この①②の状況の中で、特別支援学校卒業生はますます自分らしい人生の選択をするために、そして、企業は障がい者雇用による高度人材獲得のために、より一層「進学」という選択が重要となってきております。下記の図に沿って i~vii の実例をご紹介しますことで、読者の皆様に障がい者の「進学」について現状を知っていただき、それぞれが自分らしい選択をあきらめない社会に向かって進んでいただけたらと思っています。

「進学」および「就職」の選択肢



中学校からの進学

- ① **県立高校通級制度 (高校卒業資格有): 令和6年度実績 123名が利用 (1~3学年合計・毎年増加傾向)**
 福岡県では県立高校に在籍する生徒を対象に在籍する県立高校での教育活動に加えて、障害の状態に応じた通級指導を下記6校で実施しています。
 - ・拠点校4校 (ひびき高等学校・博多青松高等学校・明善高等学校・嘉穂東高等学校)
 - ・サテライト校2校 (大牟田北高等学校・西田川高等学校)
- ② **私立高校への進学 (高校卒業資格有)**
 私立高校では、不登校経験者・グレーゾーン・障がい者手帳をお持ちの方を積極的に受け入れて、本人に寄り添った教育を行い、多くの卒業生が社会で活躍している事例があります。
- ③ **サポート校の利用 (単体では高校卒業資格無、通信制高校などと合わせて有)**
 ※ 通信制高校 事例: 8ページ「SMALL STEP TV」【明達館高等学校 博多SNEC】
 通信制高校に通う(実際は通信も通学も可能な学校もある)生徒を学習面・精神面で支援する民間教育機関です。サポート校自体は「学校」としての認可を得ていません。
- ④ **特別支援学校高等部 (特別支援学校高等部卒業資格) ※大学・専門学校受験資格有**
 障がい者手帳を持つ学生に対して、知的・視覚・聴覚・肢体不自由・病弱などの特性に応じた教育施設であり、本人の可能性を最大限に引き出し、自立を目指す教育を行っています。特別支援学校によっては高い企業就職率や寮完備、進学などの実績のある学校もあります。

特別支援学校高等部からの進学

- ⑤ **大学進学**
 視覚・聴覚・肢体不自由の学生は、特別支援学校から大学へ進学をしてきた歴史があります。九州産業大学(福岡市東区)では、令和6年度からインクルージョン支援室を設け、障がいなどの理由から出てきた授業を受けるうえでの困りごとを相談できる窓口を設けています。
- ⑥ **専門学校**
 ※ 障がいのある学生の専門学校進学状況 調査結果報告: 5~6ページ / 特別インタビュー【一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会】: 9~10ページ
 これまでも特別支援学校高等部卒業生が専門学校に進学する事例はありましたが、その情報は送り出した特別支援学校と受け入れた専門学校にしかなく、関係者で共有されることがありませんでした。企業が障がい者雇用の高度化多様化を目指す中、専門教育を受けた障がい者の雇用により一層の期待がもたれています。
- ⑦ **福祉系カレッジ**
 ※ 福祉系カレッジ 事例: 15~16ページ【五灯館大学校 基礎課程・専門課程】
 特別支援学校高等部卒業後、さらに社会生活に必要な知識やパソコンなどの技術を身につけたい学生のための福祉施設です。特別支援学校の延長で、さらなる学習を希望される方の利用が多くあります。

▶ 私立高校事例
 【立花高等学校】
 11~12ページ
 第4回リアル訪問体験参照



▶ 特別支援学校高等部 事例
 【福岡県立特別支援学校 福岡高等学園】
 13~14ページ
 第5回リアル訪問体験参照



障がいのある学生の専門学校進学状況 調査結果報告

今回、一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会様と連携し、今後の特別支援学校卒業生の専門教育の可能性を広く共有することを目的に、加盟校の特別支援学校卒業生の受入れ状況及び入学にあたって配慮したことなどをアンケート形式により調査いたしました。

この調査をきっかけに、障がいのある本人及び保護者の方の進路選択の可能性が広がり、より適切な進路決定につながることで、また、障がい者受入れ実績のある学校のノウハウが他校にも共有されるきっかけとなり、多様な専門教育の門戸が障がいの有無に関わらず広がっていくことを期待しています。

1. 貴校が認可を受けている分野を☑ください

工業	4校	教育・社会福祉	1校
医療	2校	商業実務	3校
美容	2校	服飾・家政	1校
文化・教養（ゲーム・CG・アニメ・マンガ・イラスト）	7校		

合計：20校



2. 令和6年度の障がいのある学生に関して、あてはまるものに☑ください（複数選択可）

障がいのある学生がいた	8校
発達障がい疑われる学生がいた (医師の診断書はないが、発達障がい推察され、個別に対応)	11校
特別支援学校から入学してきた学生がいた	2校
障がいのある学生はいない	7校
わからない	1校
その他（特別支援学級に通級していたと思われる学生がいた）	1校

3. 上記以外の障がい特性のある学生について、あてはまるものに☑し（ ）に記載ください（複数選択可）

肢体不自由の学生がいる	4校
聴覚障がいの学生がいる	1校
視覚障がいの学生がいる	2校
その他①（発達）障がい	3校
その他②（知的）障がい	1校
その他③（精神）障がい	2校

4-A. 2.3. で「障がいのある学生がいる」「発達障がい疑われる学生がいる」「特別支援学校から入学してきた学生がいる」と回答をした方への質問です

障がいのある学生の入学にあたって配慮したことを☑ください（複数回答可）
また、（ ）に具体的な施策や事項をご記載ください（複数回答可）

本人からの具体的な要望に対応した ■自分を指導する教員の限定 ■合理的配慮の締結 ■受験企業と支援事業所への連絡・見学引率・保護者連絡 ■カウンセラー対応 ■授業や学生生活の困難・配慮についてカウンセラーと連携 ■個別の事情を考慮し担任中心に対応 ■EV使用許可・別入口からの入館許可	8校
トラブルが起きたときに対応した(本人との面談、保護者含めての3者面談など) ■担任を中心に保護者と連携 ■3者面談 ■個別技術指導・面談	4校
職員への特別な教育をおこなった ■精神保健福祉課教員が面談 ■当該学生の障害特性・配慮につき情報共有	3校

4-B. 2.3. で「障害のある学生はいない」「わからない」と回答をした方への質問です

障がいのある学生の受け入れに当たって、想定される課題を☑ください

建物のハード面の課題(段差・手すり・トイレなど) ■車イス用トイレ・スロープ設置済	5校
特別支援学校などへの生徒募集の方法などの課題(アプローチ手段がない等)	1校
障がいのある学生受入れ後の合理的配慮など指導面の課題	1校
障がいのある学生の就職支援における課題(障がい者雇用の知識不足など) ■業種上、実務的に就職が難しい ■実績がなく、就職支援の課題や障がい者雇用の知識不足がある	3校
その他 ■実習施設状況から受け入れ困難 ■国家試験の質疑への対策が困難	2校

5. 今後の障がいのある学生の受け入れとその準備について、あてはまるものに☑してください（複数回答可）

すでに障がいのある学生の受け入れ準備して教職員の研修など実施している	6校
今後、障がいのある学生の受け入れ準備として新たに教職員の研修などを実施予定	4校
障がいのある学生のための相談窓口の設置	4校
行政等の専門機関との連携	1校
その他 ■教職員研修 ■障がいにより対応が異なるので、学生に適した実施をしたい ■実習施設(病院)の受け入れ ■教職員研修	4校

6. 障がいのある学生の受け入れに当たって、必要と思われる支援に☑してください

行政からの支援 ■県・北九州市は学生にも受給者証を発行してほしい ■障がい特性に応じ就職支援ができる学校設置(支援) ■大手メーカーに雇用だけでなく職業教育目的の学校設置指導 ■県私学振興課からの行政対応充実・予算対応 ■奨学金・通学方法・手段 ■建物改変・施設改築などの補助金、修学支援、キャリア支援 ■行政側で学校での対策が必要と考えられる障がい者への施策の告知	12校
民間専門機関からの支援 ■障がい者が他の社員と同等にできる仕事・職種の紹介 ■医療機関 ■各障がいの専門家に相談しやすいポータルサイト、窓口設置、初期対応を廉価で利用しやすい支援体制 ■通学方法・手段 ■障がいについて専門知識のある支援員の派遣	6校
福岡県専修学校各種学校協会からの支援 ■障がいのある学生に「将来なりたい仕事アンケート」をして関係する専修学校に相談できるシステムを構築 ■要配慮などの具体的例示 ■他専門学校の対応状況などの情報共有	4校
その他 ■より多くの就職支援と就労機会の創出 ■保護者からの支援 ■進学元(高校)との連携	3校

7. 障がいのある学生の就職に関して、あてはまるものに☑してください

障がいのある学生の就職実績がある	8校
------------------	----

8. 7. で☑をした方への質問です（複数回答可）

障がいのある学生は障がい者雇用枠として就職した	6校
障がいのある学生は障がい者雇用枠でなく一般採用で就職した	5校
その他 ■就労継続支援事業A型事業所・就労移行支援 利用 ■面接時に告知せず、採用後に判明するケース	2校

資料【福岡県教育委員会集計】卒業生の進路状況

【出典】令和6年度特別支援教育資料（福岡県教育委員会）

※本資料は、福岡県HP掲載の上記資料を基に、STATICE編集部において編集したものです。

障がい告知することは、本人の自己選択を制限するものではなく、周囲の意識を啓き理解を深め、社会がよりよくなるための手段だと信じています。これらの統計データから、読者の皆様が次の未来に進んでいただけることを期待しております。

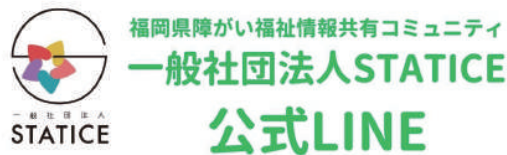
1. 県内の特別支援学校中学部卒業後の進路

		進学			就職・その他			合計
		特別支援学校 高等部	高等学校	その他 (高専等)	就職	訓練機関等	在宅・施設 利用等	
	特別支援学校 中学部	450	14	0	0	0	16	480
内訳	視覚障がい	5	0				0	
	聴覚障がい	9	3				0	
	知的障がい	363	4				4	
	肢体不自由	72	1				2	
	病弱	1	6				0	
割合	R4年度卒業生	95.70%	1.90%					
	R5年度卒業生	95.90%	2.30%				1.60%	
	R6年度卒業生	93.70%	2.90%				3.30%	

2. 県内の特別支援学校高等部卒業生の進路状況

	進学				就職・その他					合計
	専攻科	大学	その他	訓練 機関	就職	福祉施設 利用	入院	自宅・家事 手伝い	その他	
視覚障がい	1	1	0	0	1	3	0	0	0	6
聴覚障がい	1	4	1	0	2	1	0	0	0	9
知的障がい	0	0	1	0	263	390	4	2	17	677
肢体不自由	0	2	0	2	4	58	0	0	1	67
病弱	0	0	0	0	7	2	0	0	0	9
	2	7	2	2	277	454	4	2	18	768

一般社団法人STATICEからのお知らせ



友達募集中

こんな方に特におすすめ！
 ・障害のある子をもつ保護者の方
 ・障がい福祉、教育関係者様
 ・障がい者雇用企業様 など

▶QRコードで
友達追加



Instagram
@STATICE_FUKUOKA



▶各種SNSでも
情報発信中！

Facebook



ともに創る 未来へ進む

SMALL STEP TV

「福祉」と「社会課題」をテーマとし

“今”を多角的に見る情報番組

JCOM福岡放送/YouTube

Youtube 『SMALL STEP CHANNEL』



小さな気づきを紡いでいけば、
きっと世界は大きく変わる——。

当事者として必要に迫られなければ、なかなか手を出しにくい福祉や社会課題のこと。
一方で、当事者になって初めて、ぶつかる壁が大きい現実も。

ひとりひとりの福祉に対する知識や理解を向上させて、多様な人々が今よりもっと暮らしやすい社会を創りたい。そんな想いで、私たちは「伝える」ことで“変わる未来”を、すべての人々に届けていきます。



■教育と福祉両面の支援で生徒を伸ばす通信制高校「明達館高等学校博多 SNEC」

教育と福祉、両面の支援で発達障害の生徒を伸ばす通信制高校『明達館高等学校 博多 SNEC』。
発達障害の支援スキルを持った支援員と相談員が常駐し、特別支援と普通科高校教育の両方を受けることができます。
また、保護者にも役立つ学校づくりを目指し、家族と共に支援と伴走をおこなっているそうです。そんな、子どもたちの充実した未来の実現に向けて進む明達館高等学校 博多 SNEC の取り組みを取材しました。



■「福祉とeスポーツの可能性」FanGame's 代表の渡邊真生さんインタビュー

番組の後半は、eスポーツカフェ『FanGame's』代表の渡邊真生さんにインタビュー。
ボランティアで放課後等デイサービスに通う子どもたちに無料開放するなど、年齢やハンディキャップの有無にとらわれず、多くの方にeスポーツを他の辞んでもらう事を目指しています。今回は、福祉や介護の業界とeスポーツの可能性について、お話を伺いました。



■不登校・引きこもり・発達障害専門学習塾「タカ塾」

番組の前半にご紹介するのは、不登校・引きこもり・発達障害の子どもを専門とした学習塾「タカ塾」。
自宅訪問・オンライン・タカ塾教室での「学習支援」のほか、専門学校での「相談支援」、そして社会とのつながりを作る場としてカフェを運営し、学校復帰や福祉事業所などへの通所を目指して、職場体験や交流会などもおこなっています。
代表の中川貴士先生は、“生きるための学習塾”として、学力の向上だけでなく、ひとりひとりの社会的自立も目指して生徒に接することを大切にしているそうです。



■「アメリカ自閉症療育プログラムと海外からみた日本の福祉」ムンドパト社代表ジョセフ・キューンさんインタビュー

番組の後半は、「ムンドパト」社の代表 ジョセフ・キューンさんにインタビュー。
アメリカの自閉症療育プログラムと、海外からみた日本の福祉について、お話を伺いました。

【ともに創る 未来へ進む SMALL STEP TV】第三期 2022年10月終了 (Youtubeチャンネルにて視聴可能)

2023年春より「九州ビジネスチャンネル (JCOM 福岡放送)」のコーナーとして再スタート。

放送：JCOM 福岡放送 視聴可能世帯数：約91.5万世帯 (2019年3月現在)

製作・著作・運営：株式会社 CELTIS

一般社団法人 福岡県専修学校各種学校協会 岩本 仁 顧問・大村 陽之介 会長



Q1. 専門学校の社会的役割やこれまで目指してきたことを教えてください。

【大村理事長】専門学校制度が制定されて今年で50周年です。過去を振り返ると社会的な地位の向上というのがかなり進んだと思います。

一つ目は、専門学校卒業生の初任給が国家公務員初任給の学歴算定から短大と同等に扱われるようになった。二つ目は、社会的な認知度の向上が大きな契機となり、2年制の専門学校の卒業生に「専門士」が付与されるようになって、大学への編入というのも可能になった。それから4年制の専門学校もあるのですが、それは「高度専門士」となって大卒と同じような資格で大学院への入学も認められるようになった。

こうして今に至るのですが、専門学校の役割は、実践的な職業教育を社会に提供して、社会に貢献できる人材を輩出していくことです。

あとは、専門学校は新しい職業や人気のある分野などの学科を新しく増やしたり、改正したりする事が大学よりも臨機応変にできるため、その点が社会的ニーズに応えられているのではないかと感じています。

Q2. 現在、専門学校の受験資格は、障がい者手帳保持者や特別支援学校高等部卒業生に制限があるのでしょうか？

【大村理事長】受験資格は、障がい者手帳を持っている人や特別支援学校高等部卒業生にももちろんあります。制限はありません。

ただ、例えば美容師になりたいという人が車いすだった場合、シャンプーができない・お客様の頭の高さまでブローを伸ばせないなどの理由から、美容系専門学校進学への制限を自分自身でかけているかもしれません。ちなみに、私共が学校をつくって70年以上経ちますが、これまで車いすの受験者は一人もいなかったのが現状です。

また、もし今後車いすの入学希望者がいた場合、受け入れる側の責任としても就職活動が厳しい現状があることをお伝えし、ご理解いただいたうえで、入学を許可することになるかと思えます。国家資格の美容師免許を受験することに身体障がいの制限はないため、道は拓けているとは思いますが、障がいのある卒業生を受け入れてくれる美容室があるかどうかといった就職の部分で課題が大きいからです。

Q3. 大村理事長や岩本顧問は、これまでどのような障がい者とのかかわりの経験をお持ちでしょうか？

【大村理事長】麻生グループが20年以上前に「シーズアスリート」を作りました。パラスポーツの選手を雇用し、パラリンピックでメダルを取ろうと練習しています。私共は最初からそこに参加して、学園として寄付で支援しています。

【岩本顧問】まず、私自身が6年前に骨盤骨折をして今も人工関節が入っているのですが、車いすから降りられるようになって、杖もとって、歩けるようになって…そして、2年前からホノルルマラソンも走れるようになりました。ただ、自分が車いすの時に一番感じたのが、社会はまだまだユニバーサルデザインになっていないということ。私共の学校ですら昔のデザインのままで、階段しかなくて、けがをきっかけにこれまで気付かなかったことに気付くことができたので、今後は関係者に周知して多くの方に対応できるデザインにしていかなければいけないと思っています。

Q4. 大村美容ファッション専門学校や福岡外語専門学校において(雇用・職員研修・入学・合理的配慮など)「障がい者」にかかわる独自の取り組みがあれば教えてください。

【大村理事長】法定されている障がい者雇用義務はクリアしています。自閉症などで在宅勤務の職員もいれば、植栽担当職員はほぼ毎日出勤しています。聴覚障がいの学生が入学した際には、担任がその学生専用のマイクを付けて話をしていました。就職では障がいをお持ちの美容室オーナーがいましたので、そちらに就職ができました。

【岩本顧問】今年初めて車いすの学生が入学しました。私共の学校は階段しかないで、彼の授業を全て一階の教室に入れ替えました。先生方は快く対応してくれましたよ。屋外イベントの時は送迎を提案しましたが、本人が自分を特別扱いしないで自ら行きたいと申し出てきました。彼が入学してくれたおかげで、職員の意識が変わり、彼にも2年間充実した学園生活を送ってもらうための関係づくりに意識が向きました。このように、当事者がいることで、皆が現実味を持って動いていけた。ここで得られたものはとても大きいと感じています。

Q5. 今回の「障がいのある学生の専門学校進学状況」アンケート調査結果を見て、率直に思ったやご意見・ご感想などありましたら教えてください。

【大村理事長】このアンケート結果を見てもわかるように「障がい者の入学を認めません」という学校はもちろん1校もありません。ただ、入学が可能なのか、分かりづらいのが現状のように感じました。

例えば、これまでは学校のパンフレットなどに「障がいがあっても受験資格がある」ということを全く記載していませんでした。今後は、協会として受験資格があるということを伝えるため、一文を入れるなど検討したいです。ただ、アンケート結果にもあるように、障がいのある学生の受け入れ体制ができていない学校とまだ課題がある学校、どちらも現存があるので、本人が入学試験を受ける前に、事前に相談をしてもらえるとありがたいと思います。

Q6. 今後、障がいのある学生を受け入れていくにあたり、特別支援学校や教育委員会などどのような関係構築が必要だと感じていますか？

【岩本顧問】特別支援学校や教育委員会から、協会に問い合わせが来たこともなくて…これまで関係構築を全くできていませんでした。閉ざしていたわけではなく、何も知らなかったというのが現状です。

【大村理事長】協会としても、これから門戸を広げていきたいと思っています。例えば、協会が発行している進学ガイドブックに「障がいをお持ちの方もお気軽にご相談ください」という文言を入れて、特別支援学校にも配布することなどを考えていきたいです。きっかけを作ることによって、特別支援学校さんやご本人・保護者からの相談を受け入れていけたらと思います。

Q7. 障がいがあっても高等教育を経て社会で活躍したいと望む本人や保護者にお伝えしたいことはありますか？

【大村理事長】専門学校は好きなことを将来の仕事に繋げていく場所だと思います。なので、好きだったら勇気を持ってチャレンジしてほしい。学校はそういうチャレンジは大歓迎です。私共の場合は美容・メイク・ファッションという分野が専門です。洋服を作るのにもさまざまな工程があるので、学校で学ぶ中で、その工程の何が好きなのか？というところが明確になっていきます。そうすれば、自分が出来ることと好きなことを掛け合わせて、これだ!という判断が出来ますから、専門学校での学びについて、是非知ってほしいです。

Q8. 専門教育を修了して社会で活躍したいと望む障がいのある卒業生の就職について、企業にお伝えしたいことはありますか？

【大村理事長】好きなことを仕事にしたいと思っている若者を拒否する企業はないと思います。ぜひ業界団体や経営者団体のホームページでも「障がい者雇用歓迎」など、掲載してほしいです。

各企業には障がい者雇用義務がありますが、中には障がいありきでスタートして人材を探している事もあるのではないかと思います。でも今はそうではなく「この人を雇いたい、たまたま障がいがある。じゃあこういう仕事をしてもらおう」とか「この人のスキルと会社の中でできる仕事を掛け合わせたら、これだったらできる」というふうになれば、お互いにより良い関係性が構築できるのではないのでしょうか。

【岩本顧問】私は、企業にもそういうこと(高等教育を受けた障がい者雇用)を知ってもらえるような活動が出来ればと思います。専門学校の基本的な出口は就職ですから、我々の団体として商工会議所など経営者団体にPRをしていく機会をつくるというのも一つです。我々専門学校も努力していきたいと思っています。

また、企業は障がい者の就労支援事業所という存在は知っていても、どこにどんな人材がいるかわからない部分も多いのではないのでしょうか。その部分において、専門学校卒業生であればどこでどのような勉強をしてきたかが分かるので、企業と専門学校とのマッチングはすごく良いと思います。

【大村理事長】専門学校で繰り返し好きなことをしっかり身につけて、できることを見つけて、そこに自信を持って社会に出ていくことを企業側も受け入れてくれるとありがたいです。

Q9. 長年にわたり日本の高等教育の一角を担ってきた機関として、インクルーシブ社会の実現に向けて、今後どのような役割を果たしていきたいとお考えですか？

【大村理事長】日本社会として、健常者のみで運営ができるとか、障がいのある人たちを抱えるとか、そういう感覚では今後の未来が続いていかないと思うんです。労働人口が減ってきていることもあり、障がいのある方にも社会で活躍してほしいですし、ご本人も働きたいと思っているのではないのでしょうか。だから、意欲のある学生と企業との橋渡しとして、専門学校が広い入口でいたいと思います。

そして、繰り返しになりますが、自分の「好き」を見つけてほしい。チャレンジしないと何も得られません。チャレンジするのは本人です。チャレンジしている者は受け入れられますから、是非ご相談ください。一人暮らしをするなど、今までは違う環境で自分がやっていけるのかも含めて、大きなチャレンジの機会になると思います。企業も学校も、それは大歓迎です。

【岩本顧問】本人も保護者も、ぜひ勇気を持って一歩前に出してほしいですね。学校が準備しても、本人が動かなければ意味がありません。障がいの有無に関わらず、チャレンジしたい方はいつでもウェルカムですよ。今回、初めて障がいのある学生の受け入れについても考える機会ができたので、今後よりよい受け入れができるように私共も進んでいきたいと思っています。



岩本 仁

一般社団法人 福岡県専修学校各種学校協会 顧問
学校法人福岡成蹊学園 福岡外語専門学校 理事長・校長



大村 陽之介

一般社団法人 福岡県専修学校各種学校協会 会長
学校法人大村文化学園 大村美容ファッション専門学校
大村グローバルビジネス専門学校 理事長



他の学校と
同じであったら
意味がない

ここに来たい！ そう思える子どもたちの居場所であり続ける 立花高等学校



記事執筆者プロフィール

栴嶋友佳里

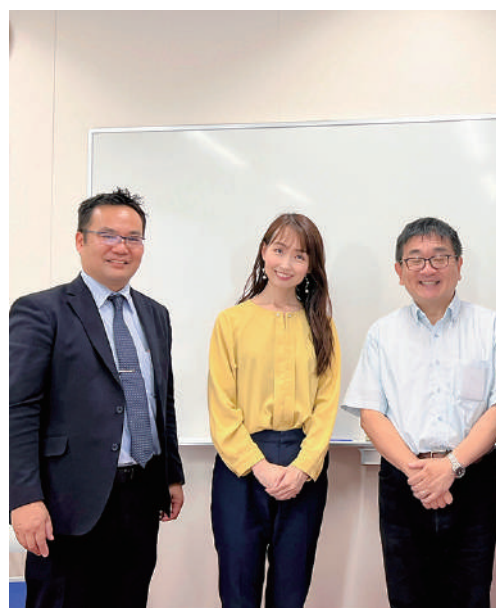
発達育児コーディネーター/
福岡市発達凸凹研究室代表/
Japan居場所作りプロジェクト
発達障がい家族サポート福岡支部長/
想いを紡ぐ文字で繋ぐKAKEHASHI 代表/
ライター・小説家/

HPやSNSなどのリンク

- 「福岡市発達凸凹研究室」公式LINE <https://lin.ee/Zrr4uEE>
- 「子ども食育ラボはぐもぐHP」 <https://food-education-childrens-cafeteria.jimdosite.com>
- 「KAKEHASHI 文字起こし師一縁yukari—HP」 mojiokoshishi.com



特性のある子の育児歴19年、三児の母。
子育てに悩み、心理や発達支援などの資格を取得。
育児の傍ら個人で支援活動を行う保護者や専門家の方々と任意団体福岡市発達凸凹研究室を立ち上げ、月に一度のイベント開催や居場所作りなどを主催。個人でも様々な場で特性のある方々に関する支援活動などを行っています。



立花高等学校 齊藤眞人校長

今回はちょうど学祭前ということもあり、明るく楽しそうな声が校内に溢れていました。「他の学校と同じであったら意味がない」そう語尾を強めて仰った「校長ちゃん」こと、齋藤校長。障がいの有無で区別はしない、ありのままを受け入れることが大切であると仰る校長先生をはじめ、立花高等学校の先生方と明るい子どもたちの輝く笑顔や声に、私も胸が熱くなりました。「僕はね、子どもたちに校長ちゃんって呼んでもらえると嬉しいんです」と柔らかい笑顔を見せて下さる校長先生のもとで、我が子にもこんな学校生活を送ってほしい！そう心から思える素敵な時間となりました。



『100回の“頑張れ”より、1回の“よう頑張ってるね！”』

生徒も自分らしく、そして先生も自分らしく

立花高等学校では、先生方が生徒一人ひとりの個性を尊重し、良いところを肯定的に捉え、みんなが生き生きと過ごしていました。一般の高校よりも先生の人数も多いことで、大人の目が行き届きやすく、生徒が職員室にも気軽に行けるなど、先生と生徒の信頼関係がしっかりと築かれている印象でした。

また、教員向けに発達障がいについての勉強会が行われるなど、学校全体で発達障がいへの理解を深める努力もされています。

さらに、学校では生徒のニーズに合わせたサポートが充実しており、学習に支援が必要であればマンツーマンでの支援、授業に集中できるよう配慮されたサポート教室や登校が難しい生徒のための学校外教室、さらには不登校支援とともに、受験で合格できなかった子どもたちに対し、翌年も再チャレンジできるよう「フリースクールたちばな」も開校されています。

また、多様な進路選択が可能で、大学や専門学校はもちろん、就労継続支援A型事業「株式会社パイルアップたちばな」も運営されており、進学のみでなく福祉的就労の道を選ぶこともできます。



今回の訪問を通じて、子どもの中にあるものを伸ばしていってあげること、周り同士に補い合える関係の築き方を教えること、理解者に恵まれる環境と一緒に整えていくことが、今後の進路選択において重要だと実感しました。「この子たちをありのまま受け入れてくれる社会になってほしい」と語る校長先生の言葉に、親としても深く共感しました。特性があることで子どもたちの未来に立ちはだかる壁を、一緒に乗り越えていくためには、社会全体で理解と支援の輪を広げていくことが重要だと考えさせられました。これからも親として、子どもたちがもっと自由に、自分らしい進路を選べるよう一緒に歩んでいこうと思います。立花高等学校のみなさま、本当にありがとうございました。

学校法人立花学園
立花高等学校

〒811-0213
福岡県福岡市東区和白丘2丁目24-43

TEL:092-606-2792 FAX:092-606-2846
HP URL:<https://www.tachibanahs.net/>



— 職業教育と寄宿舎生活で育む、自立と就労への力 —



福岡県立特別支援学校

福岡高等学園

記事執筆者プロフィール

廣瀬 緑

KTC 放課後等デイサービス はぐぼん南福岡

「お子さまの未来の選択肢を広げたい」を理念に、福岡市で7事業所、愛知県を含めると13事業所の放課後等デイサービスを展開しています。

■ホームページ <https://www.ktc-houkago.jp/day/>

今回私たちを案内してくださった福岡県立特別支援学校 福岡高等学園 中野康子校長は着任2年目(2025年2月現在)これまで学校や教育委員会では特別支援教育に長く携わっていらっしやったそうです。福岡高等学園は創立38年、軽度知的障害の高等部だけの特別支援学校は、開校当時全国でも画期的で、主に企業就職を目指す生徒さんが学ばれています。



特色1 「職業教育」

学習の半分程のカリキュラムが「職業教育」です。

全員が「**工芸コース**・**機械コース**・**窯業コース**・**クリーニングコース**・**被服コース**(令和6年度現在)に分かれ、3年間職場のような雰囲気専門に学習されています。私たちが校舎を見学させていただいた様子の一例をお伝えします。

クリーニングコース



教室にはクリーニング店さながらの機械設備が備えられていました。機械には手順書が貼ってあり、分かりやすい手立てがされていたり、先生が付き添って指導されていたりする様子も見せていただきました。こちらでクリーニングをしているのは、福岡高等学園の生徒さんの制服、体操服、寄宿舎のシーツだけでなく、教員の皆様、校長先生のスーツもドライクリーニングの依頼をしているそうです。教室には、きれいに袋詰めとタグ付けされた制服が並ぶ棚もあり、本物のクリーニング店にいたようでした。

窯業コース



教室前の廊下には、均一な大きさの大皿や茶碗、湯呑が並んでいました。それは、職業学習の一環として「製造」されているということがよく分かる光景でした。こちらで製造された陶磁器は近所の居酒屋さんで使われたり、文化祭で販売されたりしているそうです。生徒さん同士も笑顔で会話したり、先生からの問いかけに答えたりと雰囲気がとても明るいことが印象的でした。

どちらのコースでも共通しているのは「そのコースの専門的技術を身に付けるのではなく、仕事をするための基礎を身に付ける」という点です。クリーニングコースで3年間学んだからと言って、必ずクリーニング屋さんへ就職するというわけではない、ということでした。例えば、あいさつをすること、時間を守ること、報連相などは、どのような職種についても必要なスキルです。それらを、自分が興味のある分野のコースで学びながら3年間で身に付けます。3年間続けられるコースがあるかどうか、学校選択のポイントになると感じました。私たちが見学の際にお会いした生徒さんは、皆気持ちよくあいさつをしてくれました。充実した学校生活を送っている様子を見学させていただきました。

就業体験・職場実習で「自分に合った進路」を実現

1・2年生は就業体験を5日間、3年生は職場実習を2週間行い、「自分に合った進路の実現」をモットーに、教員の皆さんがサポートをされているそうです。令和6年3月の進路決定率は100%で、障がい者雇用枠での一般就労、福祉就労など本人の希望や特性に応じて指導されているそうです。

卒業後、就労した生徒さんは就業・生活支援センターに登録し、支援員による職場訪問や面談を通して相談を行うことができます。就業・生活支援センターと就労先、学校関係者は、支援計画によって連携し、安定した就労を目指してアフターフォロー等が行われるそうです。特別支援学校ならではの支援計画による連携は、保護者様としても安心ですね。

特色2 「寄宿舎生活」

校舎の隣にある寄宿舎も見学させていただきました。福岡高等学園は全寮制で、月～金曜日は寄宿舎で過ごします。金曜日の終業後に公共交通機関で自宅へ帰り、月曜日の朝には公共交通機関で登校します。福岡県内全域から生徒さんが集まっているそうです。

寄宿舎での生活は、6:30起床、洗面、掃除、朝食、はみがき、登校、火・木曜日は部活、下校後は談話室でテレビを見たり、夕食後は一人で過ごす「マイタイム」でスマートフォンを使用したりすることも可能だそうです。

寄宿舎生活を通して将来的な目標は、自分で自分の生活を送ることができるようにすること。そのために4人部屋毎に洗濯当番が輪番制であったり、入浴時間が決まっていたりしました。

自宅で生活することでは経験できない自立に向けた意識を高めるには、寄宿舎生活も選択肢に入れてみるのも良いと感じました。卒業後を意識した活動では「セルフ・スタディ(自活訓練活動)」ということが行われているそうです。学校の敷地内に1LDKの自活訓練室があり、学年で内容は異なりますが、2年生の場合、3人組で下校後に夕飯は外食、朝食の食材を購入して帰宅。洗濯、入浴や自習後に就寝して、2日目の朝は朝食後に登校するそうです。寄宿舎生活からステップアップしたグループ活動は、自分たちで生活をアレンジすることができ、モチベーション高く取り組むことができる目標だと感じました。高校生ながら、自活する将来を実感できる機会を得られることは大変貴重です。



私は、初めて特別支援学校高等部の見学をさせていただきました。ホームページを拝見するだけでは分からない、生徒さんの雰囲気や先生方の熱意を直接感じることができました。放課後等デイサービスを契約されている保護者様は中学校卒業後の進路について大変興味をもっていらっしやいますが、「どう動いたらよいか分からない」という方が大勢いらっしやいます。STATICE様のリアル訪問を通じて、ぼんやりとした将来に少しずつ輪郭が付いてくるのではないのでしょうか。子どもたちの「やってみたい」という気持ちを後押しできる進路選択のために、今後も参加させていただきたいと思っております。中野校長先生(当時)、この度は貴重なお話をありがとうございました。



福岡県立特別支援学校
福岡高等学園

〒818-0047
福岡県筑紫野市古賀304

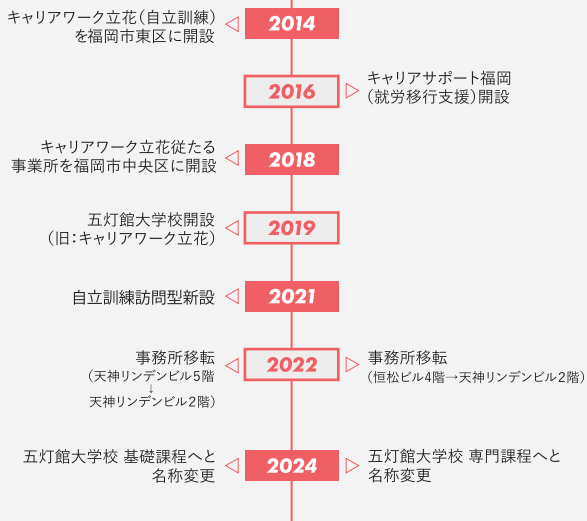
TEL: 092-921-2244
HP URL: <https://fukugaku.fku.ed.jp/>

沿革

運営母体:社会福祉法人野の花学園(1959年設立)

基礎課程

専門課程



運営方針

実績・・・企業就職率80%、定着率92%(直近3年間)

基礎課程2年

自立訓練事業

企業への就職を見ずえて、社会人として自立した日常生活を営むために必要な訓練を行う
(お金の学習・パソコン・マナー講座・料理体験・スポーツ・軽作業仕事・コミュニケーション・健康衛生・行事)

対象

高校や特別支援学校高等部を卒業したばかりの方(平均年齢18歳)
自力で通所ができる方、知的・精神障がいの方
(身体障がいの方は物理的な制限あり)

定員

20名(1年生と2年生と一緒に活動します)

専門課程2年

就労移行支援事業

企業への就職に向けて訓練を行う
(社会人の基礎を学ぶ・ビジネスマナー・企業見学・企業実習・就職活動)

対象

基礎課程を修了した方だけでなく専門課程から利用される方もいる
(平均年齢22歳)
自力で通所ができる方、知的・精神障がいの方(身体障がいの方は物理的な制限あり)

定員

20名(1年生と2年生と一緒に活動します)



04 学生や保護者からはどのような声がありますか?

ご本人からは、「就職ができてよかった」「同じ目標(就職する)を持った先輩や後輩と一緒に過ごす事で、就職への気持ちが高まった」「これからもカッコいい先輩になりたい」「自信がついた」「社会の一員になって、必要とされて嬉しい」など、前向きになれたという言葉ももらいます。
また、保護者からは「顔つきが大人になった」「笑顔で仕事に行く姿を見ると嬉しくなる」「初任給でプレゼントをもらった」「利用者さん同士でお出かけなど余暇活動ができるようになった」「気持ちのコントロールができるようになった」「自分が躓く場所に気づくようになった」など、ご本人の成長を喜ぶ声をいただくことが多いです。



06 フリーペーパーSTATICの読書に伝えたいこと、知ってほしいことはありますか?

五灯館大学校の存在を、より多くの方に知っていただきたいです。自立訓練は、福祉サービスの中でもまだ広く知られていない分野です。だからこそ、進路の選択肢の一つとして、多くの方に知っていただければと思います。
そして、私たちは「働くって楽しい」と思える経験を、最初の就職で感じてほしいと考えています。ご本人が自らの意思で進路を決めることの大切さを、日々強く実感しているからです。「自分で働きたい」と思った瞬間から、人は大きく変わり始めます。その変化に寄り添いながら、自ら掲げた目標に向かって進んでいくことを応援しています。そして保護者の方々には、その成長を見守り、温かく支えていただけたらと思っています。
ときには失敗も大切な経験です。人生の中で「働く」期間はとても長いものです。その準備期間として、五灯館大学校での4年間で、充実した職業訓練と、仲間との楽しい時間を過ごしてほしいと願っています。

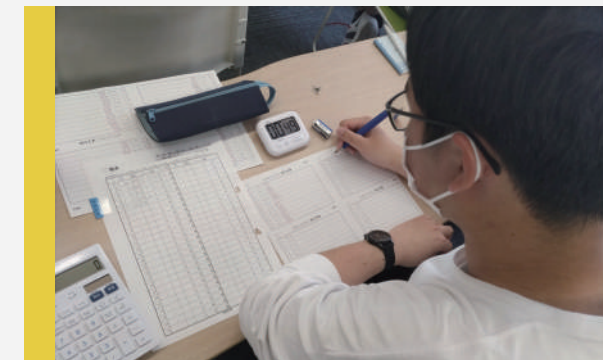
03 卒業後の進路について教えてください

卒業後は最長三年間の就労定着支援をおこなっています。その結果、過去三年間の実績は、企業就職率は80%で、企業就職者の定着率は92%です。就職先の業種は、それぞれの希望なので様々です。また、企業就職をされなかった方は、就労継続支援A型やB型事業所を利用されています。



05 これから目指したい学校の姿を教えてください

企業への就職を目指すということにこだわっていきたいです。五灯館大学校をご利用いただいた皆さんが、キラキラと輝いた人生を送り、社会の一員として活躍できる場所への就職をお手伝いしたいと思っています。働き方や働く方に対して求められることが日々変化しても、時代の変化に柔軟に対応し、いま求められていることを取り入れた五灯館大学校でありたいです。



access

五灯館大学校(社会福祉法人野の花学園)

〒810-0001
福岡市中央区天神3丁目14-31天神リンドンビル2F

基礎課程 TEL:092-707-0154
専門課程 TEL:092-791-1127

HP: <https://www.nonohana.or.jp/gotokan.html>

INTERVIEW



社会福祉法人
野の花学園
安全推進部長
古川 慎太郎

五灯館大学校
基礎課程
管理者
サービス管理責任者
福澤 奈々
社会福祉士
保育士

五灯館大学校
専門課程
管理者
サービス管理責任者
五灯館大学校教務長
施設長
吉瀬 万紀
社会福祉士
精神保健福祉士

01 生徒さんはどのような希望をもって進学してくるのですか?

五灯館大学校に来られるのは、ほとんどが知的・発達障がいのある方です。学校の先生や保護者ネットワークから紹介されて来られます。ほとんどの方が初めての就職に向けて学びをスタートするので、最初は「就職できるかな」と不安でいっぱいです。しかし、基礎課程も専門課程も1年生と2年生と一緒に学び、就職した先輩も遊びに来るので、「先輩みたいにカッコ良い社会人になりたい」「企業に就職したい」と就職に向けて意欲が高まってきます。もちろん「楽しく安心できる所に行きたい」「働いてお金を稼ぎ、推しのグッズを買いたい」「家族にプレゼントを買いたい」「恩返しをしたい」という方もたくさんいます。利用される皆さんの希望は、私たちと同じです。

専門課程(2年間)では、「就労移行支援事業」として、
面談 ⇒ 個別トレーニング(事務・清掃・パソコンなど) ⇒ 振り返り ⇒ 座学SST(マナー・対人技術・仕事について・自己理解・他者理解) ⇒ 面接練習・書類作成 ⇒ 実践(施設外就労・企業見学・企業実習)となります。振り返りや実践を通して自己理解を深め、社会の一員として、素直さ・自分らしさを大切にすることを意識しています。また、企業とのマッチングを大切に、長く働くことができる企業での就職を目指しています。

02 授業の詳細について教えてください

五灯館大学校では、基礎課程(2年間)「自立訓練事業」と専門課程(2年間)「就労移行支援事業」の4年間で企業就職に向けた訓練カリキュラムを組んでいます。
基礎課程(2年間)では「自立訓練事業」として日常生活を営むために必要な訓練をおこないますが、五灯館大学校の特徴は、企業への就職を目指して行うことです。
※授業内容は上記「運営方針」参照
企業就職者の退職理由は9割がライフスキル・ソフトスキルです。ここをしっかりと基礎課程で学びます。

チャレンジドアート ステッキ (フジホーム株式会社)

「いつまでも自分の脚で歩いて健康に」フジホーム株式会社 代表取締役 岡野健

■ステッキ開発の経緯

・私の母に転倒の危険性があったので杖を奨めたところ「そんな年寄りに見られる杖は恥ずかしくて使えない！」と言われ、外出しない生活が続き、認知症の症状が出始めました。
 ・これではまずいと思い「どんなステッキだったら外に持って行きたいのか？」と聞いたところ、「真っ赤なステッキだったら...」との事だったので母に渡して無理やり外出へ。すると、数時間後にニコニコ笑いながら帰ってきました。
 ・「この真っ赤な杖で歩いていたら、近所の人に素敵なステッキですね！」と褒められたことがとても嬉しかったとのことで、これをきっかけに出掛けのように。一人で買い物や友達と旅行にも行くなど、元気な生活が今でも続いています。このような方々を支援していく事が弊社の使命です。

■「杖」から「素敵なステッキ」へ

・歩行がおぼつかないのに「杖」を使わず転倒する方が多く、転倒をきっかけにして脚の筋肉が落ちた結果、歩けなくなり、介護生活を送らなければなりません。
 ・そこで「素敵なステッキ」にして早い段階から使っていただき、転倒事故を減らすために、デザイナーの方々にステッキのデザインをお願いしました。
 ・ステッキは高齢者だけではなく、障がいのある方も使われるので、素敵な絵を描かれるチャレンジドアーティストの方々にもお願いして売上の一部を支援していく事業を実施しております。

■メッセージ

・歩くことは身体的（筋肉）、精神的（リラックス）、社会的（経済）効果がありますが、転倒の危険性がある事が心配で歩かない方が多くおられます。
 ・そこで「転ばぬ先の杖」として素敵なステッキを使って「いつまでも自分の脚で歩いて健康に」なっていただきたいです。



一般社団法人 STATICE 実績紹介

実績紹介① 福岡市立特別支援学校「清水高等学園」PTA &九州電力グループ 交流会

2025年2月6日に「清水高等学園」PTA主催で九州電力グループとの交流会を実施しました。

これまで、特定の特別支援学校と特定の企業グループが交流会を実施したことはなく、福岡県内で初めての事例となりました。

当日は、株式会社 Q-CAP 及びニシム電子工業株式会社が事業及び障がい者雇用に関するプレゼンを行い、保護者から多くの質問が出ました。保護者はお子さまの高等部卒業後の進路が A 型事業所や福祉カレッジ、就労移行支援事業であっても、その後の就職の事例として大いに参考になったことと思います。

今後、特定の特別支援学校と特定の企業グループ交流会が開催されていけば、経年の引き継ぎによる情報共有もされることで、効果的な進路選択機会となるはずです。

また「清水高等学園」と九州電力だけでなく、他の特別支援学校と他の企業グループや業界団体や高等教育機関の交流会も可能となり、障がい者の進路選択機会を大幅に多様化・拡大させていくことができると考えています。

今回、一般社団法人 STATICE は「清水高等学園」PTA 役員から相談を受け、PTA と上記 2 社の仲介をさせていただきました。



実績紹介② 第一交通産業株式会社 & 登校が難しい中学生 エアコン洗浄

2024年11月21日、第一交通産業那珂川営業所において、那珂川市の不登校中学生 3名がその保護者と共に kanzeon によるエアコン洗浄に参加しました。

お越しいただいたのは、一般社団法人 STATICE のリアル訪問事業にも親子で参加してくださっている方々です。保護者より「普段、家でも部屋にこもりがちなので、社会勉強として子供をエアコン洗浄に参加させてもらえないか」との相談を受け、那珂川市内で中学生のエアコン洗浄を受け入れてくれる企業を探しました。第一交通産業株式会社本社（北九州市）に相談に行き、那珂川営業所を紹介していただき、すぐに開催となりました。

洗浄中の彼らの真剣に取り組む姿は印象的でした。参加者から「楽しかった、また参加したい」と積極的な感想をもらい、エアコン洗浄が彼らの一歩を踏み出すきっかけとなることをうれしく思います。このような前例のない提案であっても、企業理念から行動を決定できる第一交通産業株式会社の皆さまに心より感謝申し上げます。



実績紹介③ JR九州パレットワーク & A型事業所クローバーサポート

パレットワークの採用責任者より、多様な人材確保のために特別支援学校や就労移行支援事業所だけでなく A 型事業所からの採用も検討しているとお話があり、kanzeon のエアコン洗浄に参加される A 型事業所クローバーサポートの管理者をご紹介いたしました。企業の障がい者雇用推進のために、多くの人材採用ルートを作る JR九州グループに敬意を表します。

福祉の精神に則り、常日頃から彼ら彼女らの「自立」のために事業を行う障がい福祉施設と、日々を誠実に生きる利用者の方々に新たな進路選択の可能性が増えるお手伝いができることがうれしいです。



▶(右) JR九州パレットワーク・安田取締役 (左) クローバーサポート・堀松管理者

一般社団法人くらげれんごう

「海であそび、海でまなび、海をまもる」をコンセプトに、福岡県で活動しています。

海の環境課題に「楽しく・ハードルを低く」取り組むアプローチとして、毎年4~11月の暖かい時期にのみ開催している「日本一ハードルの低いビーチクリーン」や、小学校での環境学習、子供向けワークショップ、海のゴミを使ったアップサイクルアクセサリー制作、ごみ拾いポイ活アプリ開発などを行っています。

50名近くいるメンバーのうち、女性・母親の比率が高めで、海好き&ママ視点の環境への取り組みも注目されています。

HP/SNS: <https://kurage-rengo.com/links/>



▶「日本一ハードルの低いビーチクリーン」活動のようす。
 ハードルの低さにこだわり「楽しいなかのついでに、ごみ1つでも拾えばビーチクリーン」を合言葉に開催しています。

